

学修の成果に係る評価及び卒業認定基準

1) 客観的な指標の算出方法の公表方法

各試験の成績は、1科目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。

試験による合格点はD以上とする

GAP制度を利用し、授業科目の成績評価に対して点数化し、その点数を科目の総科目数で割って算出した平均値で評価する。

成績評価に対しての点数は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点、E=0点とする。

$$\frac{A \text{ 取得数} \times 4 + B \text{ 取得数} \times 3 + C \text{ 取得数} \times 2 + D \text{ 取得数} \times 1}{\text{総科目数 (不可の単位も含む)}}$$

2) 卒業の認定に関する方針

卒業条件：成績評価の「A(100~90)」「B(89~80)」「C(79~70)」「D(69~60)」

及び「P(単位認定：特別教育科目(校外実習)における評価)」を合格とし、

合格した科目については所定の単位を認定。2月の卒業判定会議にて校長が認定。